

# 札幌市立西岡小学校の取組

## 1. 研究のねらい

本校 4 年生は、昨年度の授業で西岡図書館を利用し、市立図書館の図書貸出券も全員が持っている。しかし、日常的に学校図書館以外の図書館を利用している子は多くない。そこで、今回は以下の二点をねらいとして設定した。

- これまでに学校図書館・地域の図書館で学んだ、図書館利用の仕方を生かして、自分で設定した課題に合った本を見つけることができる。
- 図書館利用を通じて、より読書への関心を高めることができる。

## 2. 取組内容

### (1) 事前学習

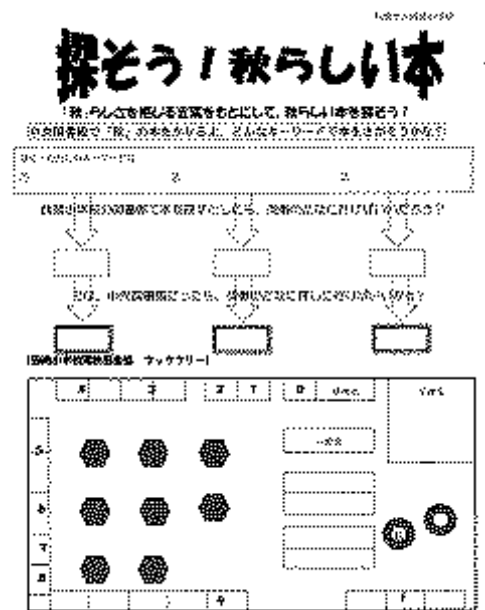
今回の中央図書館訪問では、「秋に関係するお気に入りの本を見つけ、それを友達に紹介する」ことが子どもたちの課題であった。そこで、図書館訪問時に、何をキーワードとして、どこを探せば本が見つかるかが分かるよう、また本を探す意欲がわくように事前学習を設定した。

#### ①「秋だなあ」 秋の言葉探し

まず子どもたちは、秋を連想させる食べ物、虫、行事などの言葉で、思いついたものを次々に書き出していった。そして、それらの言葉を全体交流の場で分類した。すると、「食べ物のところには、新米も入らんじゃない?」「十五夜は、食べ物にも行事にも両方に入るね!」など、分類に着目することで秋の言葉をさらに見つけたり、言葉を整理したりする姿が見られた。それぞれの言葉が、どの分類に属すのかを考えることは、本探しのヒントにもなり、1つの言葉でも見方によって色々な分類の仕方があることに気付くことにもなる。また、たくさんの秋の言葉に触れる中で、子どもたちの秋のイメージがより深まっていくことにもなった。

#### ②西岡小図書館と中央図書館の比較

次に、たくさんの秋の言葉の中から、借りてみたい本のテーマを3つ選び、馴染みのある西岡小の図書館なら、何番の棚にありそうかを、右のワークシートを使って考えた。「3・4番あたりには、自然に関する本があったような…」「9番の物語にも、秋がテーマの本を見たことあるよ!」など、子どもたちは場所を手がかりに分類番号を当てることができた。そして、その分類番号をもとに、中央図書館ではどの棚にあるのかを調べていった。地図に載っている書架の多さに驚いていたが、学校と同じように分類して配置されていることに気がつく、「それなら本を探そう!」と本探しの見通しをもつことができた。このように、学校図書館を通して中央図書館を見てみることで、二つの共通点から本探しのヒントをもらえるし、規模の違いから中央図書館への憧れを膨らませていた。



## (2) 中央図書館での活動と事後の活動

### ①分類番号とキーワードを手がかりに本探し



中央図書館では、まず司書の方に図書館でのマナーや書架配置についてのお話をしていただいた。事前に学習した学校図書館の蔵書数と比較することで、中央図書館の規模の大きさを実感した。



その後、子どもの森での本探しを行った。西岡図書館での図書利用経験や、書架配置等の既習を生かして、探索機を使わずに自分たちでスムーズに調べることができた。また、事前に決めていたキーワードも本探しのヒントになったようで、タイトルだけでなく目次や表紙からもキーワードが隠れていないかを探していた。お気に入りの秋の本が見つかった子どもたちは、自分の図書カードを使って本を借り、秋の本を紹介するカードを作成した。本を選び終わった直後の子どもたちは、「目印がたくさんあってすぐに見つけられた!」「番号が分かりやすかった!」と、中央図書館の工夫を利用しながら本を見つけていたようだった。また、秋の本以外にも読みたい本の貸し出しも行った。

### ②おすすめの本の交流

帰校後は、借りてきたおすすめの本と紹介カードをセットで教室前に展示し、読んでみたい友達のおすすめの本を自由に読めるようにした。子どもたちは、紹介カードの文も参考にしながら多くの秋の本を読むことができた。また、読んだ本の紹介カードにはシールを貼ることができるようにし、紹介した方も読んだ方も読書の足跡を残すようにした。

## 3. 成果と課題

### (1) 成果

地域図書館や学校図書館の学習が土台にあったことで、子どもたちは課題をよく把握し、読書活動や表現活動にとっても意欲的に取り組んでいた。校外学習での新しい本との出会いは、子どもたちの読書体験を広げる素晴らしいものになったと思う。また、借りてきた本を廊下に展示したことで、4年生だけでなく、他学年も中央図書館の本を手取る姿が見られた。4年生の読書体験が他の学年の読書体験をも広げる事後学習となった。

### (2) 課題

おすすめの秋の本について紹介する文章を書き、それを友達同士で見合い、互いに評価する活動は本校の4年生に適していたように思う。しかし、地域の図書館での学習経験があったので、中央図書館での「本を探す」活動だけでは、不十分だった。たくさんの本の中から、どのように本を探したのかを記録として残すなど、中央図書館での活動をもっと広げていくべきだった。例えば、「私は新米についての本を探したかったから、植物の棚と産業の棚を探したよ。」など、自分が何をキーワードにし、何をヒントに本を探したのかを、おすすめの本と一緒に合わせて記録に残す。そうすることで、事前学習も深まるし、中央図書館の書架配置の工夫にも目を向けることができる。さらに、5年生の国語「図書館改造計画」の学習へのつながりを持たせることもできると考える。